
済美高等学校

校長 郷 峰男

住所 岐阜市正法寺町3-3 電話 058-271-0345

1 会の名称 済美高等学校学校評議員会（第2回）

2 会の構成	評議員	大野 一生	厚見自治会連合会長
		大竹 恵子	厚見中学校校長
	小川 克正	中部学院大学副学長	
	田邊 博臣	済美高等学校PTA会長	
	学校側	藤 良寛	弁護士
		郷 峰男	校長
		吉田 洋造	副校長
		山本 俊樹	教頭
		南谷 義光	男女共学部主事
		西島 麻里子	宗教主事
		安元 彦心	教務主任
		渡辺 龍一	生徒指導主事

3 学校評議員の職務

校長の求めに応じて、学校運営について意見を述べる。

（済美高等学校学校評議員会規程第1条第2項）

- ## 4 会の開催
- ・日時 2011年10月7日（金）午後1時10分から午後3時10分
 - ・場所 小会議室
 - ・出席者 学校評議員5名と学校教職員5名

5 会の概要

（1）評議員会

① 開会の挨拶（校長）

- ・生徒、教職員の異動について
- ・学力保証の取り組みについて
- ・生徒の活躍について
- ・生徒募集について（中学生一日入学の報告及び今後の活動）
- ・中学生アンケート結果について

② 議長の選出（学校評議員規程第7条3）

学校側で進行。

④ 議事協議（同規程第8条）

- ・授業評価について
（ご意見については別紙のとおり）
- ・2011年度中間学校関係者評価及び自己評価について
（学校関係者評価についての説明は安元、自己評価についての説明は山本）

⑤ 閉会の挨拶（校長）

- ・ 本日の御礼
- ・ 学校関係者評価をじっくり見ていただき、厳しい評価をお願いしたい。
- ・ 評議員の意見を参考にし学校運営の改善に努めたい。

2011年度 第2回学校評議員会評議員によるご意見

授業参観クラスと授業担当者

- ・1年ファッションデザインコース（保健 島崎）
- ・1年保育教養科（家庭総合 寺町）
- ・1年衛生看護（基礎看護技術 蓮見・松野・林・中島）
- ・2年総合選択（国語総合 川治）
- ・2年総合選択（体育 太田）
- ・2年衛生看護（英語Ⅱ 森）
- ・3年衛生看護（生物Ⅰ 早川）

ご意見

- ・生徒は付箋を付けたりマーカーを使用するなど積極的に授業に参加していた。（衛生看護科1年）
- ・自ら発言することは難しいようであった。（衛生看護科1年）
- ・プリントが用意されており先生が問いかけ、そして生徒が答えるなど丁寧な授業であった。（保育教養科1年）
- ・生徒の声小さく、積極性に欠ける。（保育教養科1年）
- ・楽しそうに生き生きとしていた。（普通科総合選択コース2年）
- ・生徒は静かに授業を受けていたが、積極性が見られない。（普通科総合選択コース2年）
- ・先生の朗読が長く目標がつかめない。（普通科総合選択コース2年）
- ・何とかして生徒を授業に参加させたい様子が見られ、楽しい授業であった。（普通科ファッションデザインコース1年）
- ・服装の乱れを指摘するなど規律も重んじていた。（普通科ファッションデザインコース1年）
- ・ノートの作り方の指導ができていた。（衛生看護科2年）
- ・生徒はよく質問をし、対話型の授業ができていた。（衛生看護科2年）
- ・導入部分で表を使って埋めていくなど前時の確認ができていた。（衛生看護科3年）
- ・内容が高度で、専門科目との関連を考えての授業が行われていた。（衛生看護科3年）
- ・シートが用意されており、用語の確認ができるようになっていた。（衛生看護科3年）

評議員からのご質問

- ・期末考査の返却時、平均点が49点で受け持ちのクラスで最高であったといわれたが低いのではないかと。⇒概ね50点を目安に作成しているため、それほど低くはない。
- ・出席番号で生徒を当てていたが氏名ではなく出席番号を用いたのは意味があるのか。⇒普通は名前ですべて当てられるため、担当者の何らかの意図があると思われる。
- ・自己評価で50歳代が悪いのは何故か。⇒謙虚な面もあるのではないかと。20歳代は全体的に自己評価が甘い。
- ・生徒のアンケートをホームルーム委員から全生徒に拡大したが今後も続けるのか。⇒学校改善につなげるため今後も継続するつもりである。